



十小だより

令和3年4月6日
第1号
府中市立府中第十小学校

令和3年度のスタートにあたり

校長 内井 利樹

新入生の皆さん、新2年生から6年生の皆さん、入学、進級、おめでとうございます。咲き誇る花々が皆さんのことをお祝いしているようです。府中市立府中第十小学校は、124名の新入生を迎え、690名で令和3年度のスタートを切りました。

今年度もwithコロナでの学校生活となります。昨年度と同様に手洗い、マスクの着用、3密や大声の回避など、様々な対策を取りながら教育活動を進めてまいります。安全第一を念頭に置きながらも、ポジティブな雰囲気に溢れ、皆が活躍する学校を目指して、全力で取り組みます。保護者の皆様、地域の皆様に御理解と御協力をいただき、一緒に子供たちを育てていけたらと思います。どうぞよろしく願いいたします。

令和3年度に学校生活で一番大きな変化と考えられるのは、一人ずつのタブレット端末（以下タブレット）の貸与です。このことは全国の学校で行われます。本来であれば数年かけて実施される予定でしたが、前倒しで今年度から始まります。校内でも研修会を何度か開き、子供たちにとってより効果的な学習になるよう、昨年度から準備を進めてまいりました。現時点で考えていることをいくつかお知らせいたします。

第一に、タブレットを使った学習と従来の教科書やノートなどを使った学習とを程よく合わせて実施することが大切であるということです。タブレットは何かを調べるときに便利です。またカメラ機能も付いているので動画や静止画を撮影して学ぶことができます。例えばマット運動で自分が回っている様子を撮影して、自分の体がどのようになっているのかを知ることができます。植物の観察をするときも撮影してそれを基に気付いたことをカードやノートに書くことができます。更に発表ソフトを使うこともできます。従来の教科書やノートなどを使った学習では、字を書いたり計算したりといった学習に適しています。自分の考えを練り上げる時にも、紙の上を書いたり消したりしながら行った方が適しているように思います。例えば6年生の算数で「ならべ方と組み合わせ方」という学習がありますが、リレーチームの走る順番の組み合わせを考えるような場合、ノートに図を描きながらだと考えやすいと思います。何かを覚える時も書くことでより覚えやすくなります。両方の良いところを活用しながら学習を進めたいと考えています。

第二に、タブレットの使い方のルールをしっかりと作り、守るように指導することが大切であるということです。各教室にタブレットの保管庫が設置されました。子供たちは登校したらタブレットを保管庫から取り出して電源を入れることから一日がスタートします。機械なので丁寧に扱わなければなりません。画像を撮影する時のルールやマナーも教えなければなりません。また、宿題などでタブレットを家庭に持ち帰った時のルールも必要になります。

タブレットはとても便利な道具ですが、使い方を誤らないように気を付けなければなりません。今後も試行錯誤をしながら、子供たちがより有効に活用できるようにしていきます。ご家庭でもご協力をお願いいたします。

【お願い】

学校での教育活動を積極的にお知らせしていくために、ホームページ等に児童の写真等を掲載することがあります。個人が特定されないように配慮していきますが、特段の配慮を希望する方がいらっしゃいましたら担任または管理職までお申し出ください。よろしくお願いいたします。